



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月10日

上場会社名 中越パルプ工業株式会社
コード番号 3877 URL <https://www.chuetsu-pulp.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植松 久

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 秋永 吉男

TEL 0766-26-2404

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

2022年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	49,289	14.0	1,502	35.6	2,542	79.8	1,779	121.8
2022年3月期第2四半期	43,220	15.6	1,108		1,414		802	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,189百万円 (128.4%) 2022年3月期第2四半期 958百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	133.31	
2022年3月期第2四半期	60.10	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	122,056	50,542	41.4	3,783.76
2022年3月期	122,029	48,620	39.8	3,639.20

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 50,514百万円 2022年3月期 48,584百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		20.00		20.00	40.00
2023年3月期		20.00			
2023年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,500	18.2	1,300	44.7	2,500	18.8	1,500	18.2	112.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	13,354,688 株	2022年3月期	13,354,688 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	4,387 株	2022年3月期	4,314 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	13,350,338 株	2022年3月期2Q	13,350,844 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後様々な要因の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く経済環境は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が残るなか、社会活動の回復が進み、個人消費を中心に持ち直しの動きが見られたものの、急激な円安の進行や長期化するロシア・ウクライナ問題による国際情勢の不安定化、原燃料価格の高止まり等、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような状況のなか当社グループは、紙・パルプ事業の生産体制再構築の取り組みを進めるとともに、グループ事業について選択と集中による収益力向上を図るなど、既存事業の発展・強化に努めております。

環境ビジネスとしては、nanoforestの化粧品原料への利用拡大、鶏舎用改善資材としての販売や農業資材の法人向け試験販売を開始し実用化への取り組みを進めるとともに、プラスチック使用削減に貢献する中越エコプロダクツ事業については試運転を始め、早期事業化に注力しております。

当第2四半期連結累計期間の営業成績につきましては、円安や原燃料価格の高騰のなか、製品価格の改定や製品販売強化に取り組むとともに製造コストの縮減に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	49,289百万円	(前年同四半期比 14.0%増)
連結営業利益	1,502百万円	(前年同四半期比 35.6%増)
連結経常利益	2,542百万円	(前年同四半期比 79.8%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,779百万円	(前年同四半期比 121.8%増)

(紙・パルプ製造事業)

紙パルプ事業につきましては、想定以上の原燃料価格高騰の環境下、拡販や製品価格の改定とともに、パルプ販売の拡大や前年度に調達・生産した棚卸資産の払い出し影響等によるコスト低減が寄与し、増収・増益となりました。

◎ 新聞用紙

新聞用紙につきましては、発行部数の減少による全体的な需要減と前期の他社被災に伴う新聞社への救援納入が大きかったため、数量、金額ともに前期を下回りました。

◎ 印刷用紙

印刷用紙の国内販売につきましては、コロナ禍で落ち込んでいた経済活動は緩やかな回復傾向にありますが、当年春からの値上げの実施に依る前倒し特需が前年度末に発生した影響で販売数量は減少しましたが、輸出でカバーし数量は前期を上回りました。金額も販売数量増に加え値上げと円安が寄与して前期を上回る事が出来ました。

◎ 包装用紙

包装用紙の販売につきましては、半導体不足による自動車関連低調の影響はありましたが、東南アジアを中心とした需要に支えられ数量は前期を上回りました。販売数量増に加え値上げと円安が寄与し金額も前期を上回りました。

◎ 特殊紙・板紙及び加工品等

特殊紙・板紙及び加工品等の販売につきましては、壁紙は好調に推移し前期を上回り、脱プラ需要および巣ごもり需要の食品関連を中心とした加工原紙も前期を上回ることが出来ました。金額に関しましても販売数量増に加え値上げが寄与し前期を上回ることが出来ました。

◎ パルプ

パルプの販売につきましては、世界的にパルプ市況が回復するなか、数量・金額ともに前期を上回りました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	43,357百万円	(前年同四半期比 14.5%増)
連結営業利益	964百万円	(前年同四半期比 62.1%増)

(発電事業)

発電事業につきましては、燃料価格の高騰はありましたが、売電単価の価格改定を行ったことや、今年度は隔年で行っているボイラーの定期検査がなかったことなどにより増収・増益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	3,774百万円	(前年同四半期比 16.6%増)
連結営業利益	503百万円	(前年同四半期比 15.6%増)

(その他)

文具事業の事業整理や原燃料価格の高騰等により減収・減益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	8,377百万円	(前年同四半期比 9.1%減)
連結営業損失	44百万円	(前年同四半期は45百万円の連結営業利益)

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

商品及び製品が1,812百万円、原材料及び貯蔵品が1,264百万円増加しましたが、現金及び預金が3,016百万円減少したこと等により、総資産は前連結会計年度末比ほぼ横ばいの、122,056百万円となりました。

(負債)

金融機関からの借入金が1,984百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べて2.6%減少し、71,514百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.0%増加し、50,542百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益1,779百万円により利益剰余金が増加したことによります。自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.6ポイント増加し、41.4%となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,384百万円(前第2四半期連結累計期間比71.2%減)となりました。

これは主として、税金等調整前四半期純利益2,235百万円、減価償却費2,920百万円があったものの、棚卸資産の増加3,215百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,641百万円(前第2四半期連結累計期間比67.6%増)となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出2,988百万円、長期貸付金の回収による収入315百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2,259百万円(前第2四半期連結累計期間比27.4%減)となりました。

これは主として、長期借入金の返済による支出3,384百万円、長期借入れによる収入4,100百万円、短期借入金の返済による支出2,699百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績及び足元の状況を鑑み、2022年5月13日に公表した通期連結業績予想等を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表しております「2023年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,861	11,845
受取手形、売掛金及び契約資産	22,720	23,112
商品及び製品	8,124	9,936
仕掛品	492	630
原材料及び貯蔵品	4,539	5,804
その他	2,564	2,504
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	53,301	53,832
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,044	52,120
減価償却累計額	△35,505	△36,059
建物及び構築物（純額）	16,539	16,061
機械装置及び運搬具	240,663	241,151
減価償却累計額	△214,656	△216,034
機械装置及び運搬具（純額）	26,007	25,117
その他	13,074	13,894
減価償却累計額	△2,932	△2,951
その他（純額）	10,141	10,942
有形固定資産合計	52,688	52,121
無形固定資産		
その他	386	348
無形固定資産合計	386	348
投資その他の資産		
投資有価証券	8,256	8,834
その他	7,420	6,936
貸倒引当金	△44	△44
投資その他の資産合計	15,632	15,725
固定資産合計	68,707	68,195
繰延資産	20	29
資産合計	122,029	122,056

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,979	14,064
短期借入金	27,328	24,208
未払法人税等	493	541
賞与引当金	512	510
その他	5,255	4,170
流動負債合計	46,569	43,495
固定負債		
長期借入金	20,442	21,578
固定資産撤去費用引当金	320	244
環境対策引当金	159	138
関係会社事業損失引当金	47	47
事業構造改革引当金	60	-
退職給付に係る負債	5,631	5,804
その他	178	204
固定負債合計	26,839	28,018
負債合計	73,408	71,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,864	18,864
資本剰余金	16,253	16,253
利益剰余金	12,905	14,418
自己株式	△7	△8
株主資本合計	48,015	49,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	799	1,052
為替換算調整勘定	31	182
退職給付に係る調整累計額	△262	△248
その他の包括利益累計額合計	568	985
非支配株主持分	35	28
純資産合計	48,620	50,542
負債純資産合計	122,029	122,056

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	43,220	49,289
売上原価	36,634	41,878
売上総利益	6,585	7,411
販売費及び一般管理費		
販売手数料	84	60
運搬費	2,807	3,280
保管費	823	753
その他	1,762	1,814
販売費及び一般管理費合計	5,477	5,908
営業利益	1,108	1,502
営業外収益		
受取利息	38	34
受取配当金	73	91
為替差益	103	914
持分法による投資利益	236	114
その他	31	36
営業外収益合計	483	1,192
営業外費用		
支払利息	145	125
その他	31	27
営業外費用合計	177	153
経常利益	1,414	2,542
特別利益		
固定資産売却益	1	18
特別利益合計	1	18
特別損失		
固定資産除却損	339	145
減損損失	-	77
事業構造改革費用	-	36
特別退職金	22	15
その他	18	50
特別損失合計	380	325
税金等調整前四半期純利益	1,035	2,235
法人税、住民税及び事業税	143	353
法人税等調整額	95	109
法人税等合計	238	462
四半期純利益	797	1,772
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	802	1,779

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	797	1,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98	263
退職給付に係る調整額	11	12
持分法適用会社に対する持分相当額	51	141
その他の包括利益合計	161	417
四半期包括利益	958	2,189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	964	2,196
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	△7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,035	2,235
減価償却費	3,186	2,920
減損損失	-	77
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8	0
受取利息及び受取配当金	△111	△126
支払利息	145	125
為替差損益 (△は益)	△0	△499
持分法による投資損益 (△は益)	△236	△114
固定資産除却損	83	27
固定資産売却損益 (△は益)	△1	△18
売上債権の増減額 (△は増加)	1,472	△391
棚卸資産の増減額 (△は増加)	652	△3,215
その他の資産の増減額 (△は増加)	△85	39
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,537	1,085
その他の負債の増減額 (△は減少)	309	△279
未払又は未収消費税等の増減額	△115	△210
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	16	193
固定資産撤去費用引当金の増減額 (△は減少)	-	△75
事業構造改革費用	-	36
その他	1	△114
小計	4,812	1,692
利息及び配当金の受取額	111	126
利息の支払額	△141	△129
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	32	△304
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,815	1,384
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,786	△2,988
有形固定資産の売却による収入	1	62
投資有価証券の取得による支出	△5	△0
投資有価証券の売却による収入	-	0
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△75	17
長期貸付金の回収による収入	327	315
その他	△38	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,576	△2,641

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,650	△2,699
長期借入れによる収入	3,560	4,100
長期借入金の返済による支出	△5,004	△3,384
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△0	△265
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△16	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,111	△2,259
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	499
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	128	△3,016
現金及び現金同等物の期首残高	15,575	14,861
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,703	11,845

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	発電事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,996	3,237	39,233	3,987	43,220
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,873	—	1,873	5,234	7,108
計	37,870	3,237	41,107	9,221	50,328
セグメント利益	594	435	1,030	45	1,076

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ナノフォレスト事業、紙加工品製造事業、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業、中越エコプロダクツ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	1,030
「その他」の区分の利益	45
セグメント間取引消去	36
棚卸資産の調整額	△13
その他の調整額	9
四半期連結損益計算書の営業利益	1,108

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	発電事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	42,867	3,774	46,641	2,648	49,289
セグメント間の内部 売上高又は振替高	489	—	489	5,729	6,219
計	43,357	3,774	47,131	8,377	55,509
セグメント利益 又は損失(△)	964	503	1,467	△44	1,423

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ナノフォレスト事業、紙加工品製造事業、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業、中越エコプロダクツ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	1,467
「その他」の区分の損失(△)	△44
セグメント間取引消去	40
棚卸資産の調整額	30
その他の調整額	8
四半期連結損益計算書の営業利益	1,502

(重要な後発事象)

該当事項はありません。